

第 35 号

発行者
青少年育成秋田市民会議
事務局
秋田市子ども未来センター内
少年指導センター

〒010-8506
秋田市 東通 仲町 4 番 1 号
TEL 018-884-3869
FAX 018-887-5335

青少年やどめ



「昨年度のクリーンアップ風景」

【大川小の子どもたちに寄せて】
感動体験をありがとう!!



青少年育成秋田市民会議

会長 遠田 順夫

「静かな粘り強い敢闘精神で見事完歩した榮譽を讃える」歩心道二級を得たのは今年の五月。歩けば棒にあたる、三つの授かりものをいただいた。自他共に年甲斐もなくすぐギブアップ覚悟の「北上川」遡行に挑戦したのである。

①五月二日から連日の風雨、東北大震災で尊い生命を失った宮城県大川小学校を午前六時スタート岩手県を縦断し、青森県境まで230kmの歩行である。足痛の悲壮感がある中でも闘志だけは消えず、日毎に仲間が増えゴールできた「仲間という宝物」が授かった。

②県境付近のポイ捨てゴミが目立つ。空き缶拾いが「怪しげな臭い」に好奇心が吸い寄せられた。正体不明のまま持ち帰った。骨格、歯型から強力な中型雑食種、突出した左下前顎、残毛からホンドキツネと判明（獣医師鑑定）。

自然界の争いに勝てなかったか、獲物を獲れなく、逆に喰いちぎられたか。好奇心あふれる桜たんけん塾の驚愕する講話材料として大きな宝物。

③完歩できた五泊六日の重い足で南部藩総本山「報恩寺」を訪ねた。五〇〇羅漢に圧倒されるが、目聡く古い「絵心経書」なるものを発見し、即時譲り受けた。「日本の象形文字」といってよい代物（と思う）。「識字力の乏しい村人の読経を案じた方が作成」（平泉屋治兵衛版）した歴史の深さを感ずる一品に出会う。

「仲間の絆」「自然界の掟」「古代人の智慧」を感動的に体験した遡行であった。新たな発見が楽しく健康で歩けたことは、大川小の子どもたちが見守ってくれたこととご冥福を祈ります。

〈合 掌〉

